

第1学年2組 国語科学習指導案

平成21年11月13日(金)

指導者氏名 教諭 羽柴 千晴

1 単元名 四 古典に親しもう

教材 「竹取物語」 「枕草子」 「矛盾」

2 単元の目標

○古典の文章に出会い、言葉遣いや仮名遣いの違い、古文や漢文の持つリズムなどに興味や関心を持ち、進んで古文を読もうとする。(国語への関心・意欲・態度)

○音読や暗唱を通して、古文や漢文の響きやリズムを味わうとともに、古人のものの見方や考え方に触れ、自分のものの見方や考え方を広げようとする事ができる。(読む能力)

○歴史的仮名遣い、古語と現代語の意味や言葉遣いの違いなどを理解することができるとともに、古文や漢文のもつリズムや語感に注意することができる。(言語についての知識・理解・技能)

3 学習の基盤(生徒観は省略)

(2)単元・教材観

本単元は、初めて古典を学習する一年生の入門として、古典とは何かを知り、古典の興味・関心を高めること、そして、古典の学習を通して、わが国の文化や伝統について考えさせ、古人のものの見方や考え方に触れ、自分のものの見方や考え方を広げようとする事をねらいとしている。

ここでは「竹取物語」「枕草子」「矛盾」の三つの作品を学習する。どの作品も内容は親しみやすく、文体も簡潔で分かりやすい。3年間の古典学習のスタートとして関心と意欲を持って取り組ませるため、「面白い」「知りたい」という気持ちを大切にしながら学ばせていきたい教材である。

(3)指導観

初めての古典学習であるため、音読を中心に古典に親しむ態度を育てたい。全員で読んだりペアで読んだり、形態を変えて繰り返し音読をすることで古文特有の言い回しやリズムに気づかせ、読めた成就感から今後の古典学習への意欲づけを図りたい。また、解説中心の古典の学習ではなく、生徒が調べたり話し合ったりする中で、作品の持つおもしろさや古人のものの見方、考え方に触れ、古典への興味関心を広げていきたいと思う。本校の国語科の研究主題「ともに学び合い、確かに豊かな国語力の育成」ともかかわって、ペアやグループでの活動を通して、主体的に取り組む姿勢や協力して取り組む姿勢を養うとともに、楽しい雰囲気の中で古典学習の基礎基本の定着を図りたい。

本時においても、声を出して読むことを基本に学習を進め、発展としての調べ学習にそれぞれ意欲を持って取り組めるように教室の雰囲気も大切にして指導にしていきたい。

4 単元の指導計画及び評価計画(全13時間)

時間	学 習 活 動	国語への関心・ 意欲・態度	読 む 能 力	言語についての 知識・理解・技能
4	<p>「竹取物語」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大意をつかみ，古文の特徴に注意しながら音読する。 ・登場人物の言動から，古人の物の見方や考え方について理解する。 ・個人やペア，グループなど，形態を工夫して，声を響き合わせて音読・暗唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉遣いや仮名遣いの持つリズムなどに関心を持ち，進んで古文を読もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代語訳をもとに話の内容のあらましをとらえ，古文の表現の仕方や文章の特徴などに注意して音読することができる。 ・古人のものの見方や考え方を読み取りそれについて自分の考えをまとめようとしている ・リズムよく音読・暗唱できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古文の語句や仮名遣いの特徴に気づき，歴史的仮名遣いについて正しくとらえようとしている。
4	<p>「枕草子」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一段を読み，仮名遣いや文体の特徴をつかむ。 ・第一段における情景や心情について考えを深める。 ・他の段を読み，作者や作品についての自分なりの考えを深める。 ・自分の好きな段を音読・暗唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古文に関心を持ち，進んで読もうとする。 ・作者の心情や情景について，興味・関心を持ち，進んで読もうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作者のものの見方や考え方を理解し，自分のものの見方を広げようとしている。 ・古文のリズムを感じて音読・暗唱できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古語と現代語の意味や言葉遣いの違いを理解している。
5 本時 2/5 時間	<p>「矛盾」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「矛盾」の内容をつかみ，故事成語について関心を深める。 ・書き下し文を音読する。 ・いろいろな故事成語について調べ発表する。 ・故事成語の意味を理解し，自分の身近な例に置き換えて説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文に興味を持ち，進んで読もうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・故事成語とは何かについて理解を深める。 ・漢文独特の言い回しやリズムをつかんで音読できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・故事成語を自分のことばのレパトリーとして生活に生かそうとしている。

5 本時の学習

- 目標
- ・繰り返し音読し、漢文特有の言い回しやリズムに注意しながら、「矛盾」の書き下し文の音読に積極的に取り組むことができる。（関心・意欲・態度）
 - ・「矛盾」の故事や意味を理解したうえで、いろいろな故事成語に関心を持ち、その故事・意味・用例などについて調べたりまとめたりする活動を通して、故事成語についての理解を深めることができる。（読むこと）

○展開

学 習 活 動	教 師 の 支 援	評 価
<p>1. 前時の復習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「矛盾」の書き下し文を音読する。 ・話の内容を振り返る。 ・「故事成語」とは何かを思い出す。 <p>2. 本時の学習内容を確認する。 <u>いろいろな故事成語について調べて発表しよう</u></p> <p>*発表の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「矛盾」を例に発表の目的と発表の仕方を理解する。 ・発表例を見て自分たちの活動の見通しを立てる。 ・ワークシートの使い方を知る。 <p>*活動班を作り、担当する故事成語を決め調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人活動 辞書・国語便覧・ワーク・参考プリントを読み、ワークシートに記入する。 ・班活動 各自のワークシートをもとに故事成語の故事と意味を確かめる。 <p>3. 本時の振り返りと次時の活動を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・範読は分かりやすい読みになるようにところがける。 ・音読する形態をかえ、全員が集中して読めるようにする。 ・内容がきちんと思い起こせるよう前時の絵（カード）を使う。 ・「故事成語」とは何かを思い出し、「矛盾」での「故事」「意味」「用例」をきちんとおさえる。 ・生徒の活動に見通しが立つよう、これまでの学習をふまえ、発表の条件を分かりやすく示す。 ・作業を始める前に「矛盾」で練習をさせ、資料をどうまとめていくかをおさえる。 ・前時のカードを使い、いろいろな故事成語があったことを思い出させる。 ・書き下し文は範読し、読めないところをなくしておく。 	<p>（関心・意欲・態度）</p> <p>漢文特有の言い回しやリズムに注意して音読に積極的に取り組んでいる。【観察】</p> <p>（読むこと）</p> <p>担当する故事成語について、辞書や資料を読み、ワークシートにまとめ、班の話し合いで自分の読み取ったことをきちんと確かめている。【ワークシート】 【観察】</p>

○本時の具体的な評価

	十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	努力を要すると判断される生徒の具体例
関意態	<ul style="list-style-type: none"> 自分の課題をもって何度も音読練習を繰り返し、漢文独特のリズムを大切に読もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢文の書き下し文をすらすら読めるまで音読しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 声を出して読んではいるが、漢文特有の言い回しやリズムに注意できず、積極的に練習に参加できない。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 「矛盾」の意味と由来をきちんと理解し、それをふまえて、担当する故事成語について辞書や資料をしっかり読み、内容を理解してワークシートにまとめ、班の話し合いで自分の読み取ったことを言える。 	<ul style="list-style-type: none"> 「矛盾」の意味と由来を読み取り、それをふまえて、担当する故事成語について辞書や資料を読み、ワークシートにまとめ、班の話し合いで自分の読み取ったことをきちんと確かめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時を振り返り書き下し文と口語訳を照らし合わせながら読んではいるが、「矛盾」の意味がはっきりと理解されていないうえに、担当する故事成語についても、辞書や資料でさがすことはできたが、ワークシートにまとめられない。